

## 入院診療計画書(甲状腺全摘術を受ける患者様へ)

ID番号 @PATIENTID

@PATIENTNAME

様

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM

号室

病名(他に考える病名)

症状

担当医師

@USERNAME

印 担当看護師

担当薬剤師

@SYSDATE

月日	入院日( / )	手術日( / )		術後1日目( / )	術後2日目( / )	術後3日目以降
		術前	術後			
経過	手術へむけて準備を行います。	術前準備を行います。	( )頃 手術室へ移動します。	術後は ICUに入ります。	病棟に戻ります。	注意点を守りながら 少しずつ日常生活のリズムを 戻していきましょう。
目標	入院、手術に対する不安をコントロールできる。	手術に対する不安をコントロールできる。	手術に対する不安をコントロールでき、手術に臨める。	術後の痛みを コントロールできる。	術後の注意点を 理解できる。	術後の注意点を守ることができる。 退院を受け入れ、生活上の 注意点を理解できる。
検査	採血、採尿、心電図、呼吸機能、レントゲン、エコー、CT、核医学検査等。 ※外来で検査済の項目については基本的には再検査しません。			採血 (レントゲン)	採血	予定はありません。
処置	予定はありません。	夕方頃、医師が左腕に氏名、血液型を記入します。  	手術室入室後、または10時頃から点滴を始めます。排泄を済ませ、前開きのシャツと病院のパジャマ、弾性ストッキングに着替えて下さい。  <b>( 時 分 ) 頃 手術の予定です。時間は前後することがあります。</b>		酸素マスクが終了になります (術当日に終了することもあります)。 尿管を抜去します。 水分や食事が摂れれば点滴を抜去します。  	排液が少なくなってきたらドレーンを抜去し、抜糸をします。 抜糸後の肌色のテープは自然に剥がれるまで剥がさないで下さい。  
注射	予定はありません。					
内服	常用しているお薬を確認します。 持ってきたお薬とお薬手帳を提出して下さい。	別途お知らせします。		痛みや吐気、しびれがある時はお薬を使用します。	抗生素質、漢方薬、甲状腺ホルモン等の術後薬が開始になります。 持参薬が再開になります。	指示通り内服を継続して下さい。
食事	制限はありません。  	<b>( / ) 時 分) から絶食 ( / ) 時 分) から絶水</b>		絶食、絶水です。	むせりや吐き気なく水分が摂れれば食事が再開になります。	制限はありませんが、刺激物や固いものは避けましょう。
清潔	制限はありません。  			ベッド上安静です。	全身清拭を行います。  	抜糸後からシャワー浴が可能です。傷はこすらず、流すだけにしてください。
行動	制限はありません。 長時間部屋を離れる際は必ず看護師に声をかけて下さい。	病棟内で過ごして下さい。		ベッド上安静です。術直後は、首を動かさないでください。横を向いたい時は看護師を呼んで下さい。	初回歩行は看護師が付き添います。 歩行時はドレーンのバッグを携帯するようにして下さい。 病棟内で過ごして下さい。	制限はありません。 長時間部屋を離れる際は必ず看護師に声をかけて下さい。
説明	・病棟案内のDVDをご覧頂きます。 ・病棟看護師が入院説明を行います。 ・入院や手術に関わる書類の確認をします。 ・薬剤師が持参されたお薬についてお話を伺います。	・麻酔科の診察があります。 ・手術室の看護師が手術室での流れについて説明を行います。 ・ICUの看護師が入室の流れについて説明を行います。	【面会の方へ】 手術後連絡があります。必ず病室から階口ビーでお待ち下さい。 病棟を離れる際はスタッフへ声をかけて下さい。携帯電話は繋がるようにしておいて下さい。			退院後の生活の注意点、内服薬については、退院時に別紙にて説明を行います。  <b>【お問い合わせ】</b> ・平日の日中(外科外来) 024-547-1416 ・夜間や休日(6東病棟) 024-547-1625

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。  
注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

福島県立医科大学医学部附属病院 バス承認番号(No.187) 承認月日(平成26年6月23日)

特別な栄養管理の必要性	有
-------------	---

上記内容について説明を受け同意いたしました

署名 :

統査 :